

## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年1月26日

上場会社名 日東電工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6988 URL <https://www.nitto.com/jp/ja/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高崎 秀雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務本部長 (氏名) 伊勢山 恭弘 TEL 06-7632-2101  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月28日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	566,210	△0.8	75,902	26.1	75,389	25.9	55,158	29.2	55,106	29.2	54,739	53.1
2020年3月期第3四半期	570,735	△9.4	60,196	△28.4	59,870	△28.0	42,704	△29.7	42,657	△29.7	35,762	△38.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	370.38	370.12
2020年3月期第3四半期	271.91	271.70

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	916,660	681,580	680,792	74.3
2020年3月期	921,900	690,204	689,446	74.8

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2021年3月期	—	100.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	755,000	1.9	90,000	29.1	90,000	30.4	65,000	37.6	65,000	37.8	439.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	158,758,428株	2020年3月期	158,758,428株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	10,792,451株	2020年3月期	4,839,755株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	148,784,734株	2020年3月期3Q	156,881,817株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

第一部 (参考) 2021年3月期第3四半期 (3ヶ月) の連結業績  
(2020年10月1日～2020年12月31日)

(百万円未満切捨て)  
(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者 に帰属する 四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期 第3四半期	208,472	8.3	33,534	75.6	33,566	78.0	24,584	81.5	24,562	81.6	26,417	18.4
2020年3月期 第3四半期	192,450	△15.0	19,093	△41.7	18,853	△42.7	13,542	△47.0	13,524	△47.0	22,302	26.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	166.00	165.90
2020年3月期第3四半期	86.20	86.13

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報) .....	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)における経済環境は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響を一時的に大きく受けました。世界のCOVID-19感染者数については、夏季においては減少が見られましたが、冬季に入り再び大幅な増加傾向を示しており、予断を許さない状況が続いております。各産業においては、“戻らない需要”が見られる一方で、強弱はあるものの夏季以降に市場環境が回復してきており“戻る需要”が見られました。また、COVID-19の影響を受けて生活様式が変化するなかで、“伸びる需要”も生まれました。このような環境のなか、当社グループの主要な市場においては、テレワークの拡大などを背景に、ノートパソコン、タブレット端末向けの部材およびスマートフォンなどの電子機器の組み立て用部材並びに半導体の生産における工程用部材の需要が伸長しました。また、TV用汎用偏光板において協業先との連携を強め、技術供与によるロイヤリティ収益を計上しました。核酸医薬関連事業につきましては、COVID-19治療薬やワクチン開発など核酸医薬への期待はこれまで以上に高まっており、受託製造事業に加え関連部材の需要が堅調に推移しました。加えて、医療用マスク材料として多孔質部材に対する期待も高まっています。

一方、自動車市場は、COVID-19の影響を強く受けました。需要は回復しつつありますが、市場における自動車生産台数は前第3四半期連結累計期間に及ばない水準となりました。また、スマートフォンの光学フィルムにおいては、需要は低調に推移しました。

なお、NittoグループにおけるCOVID-19への対応としましては、すべての人の健康と安全を最優先に、感染拡大の防止とともに、お客様への供給継続に向けて取り組んでおります。引き続き、お客様への製品・サービスの提供に支障が生じないように、最大限努力致します。

以上の結果、売上収益は前第3四半期連結累計期間と比較し0.8%減(以下の比較はこれに同じ)の566,210百万円となりました。また、営業利益は26.1%増の75,902百万円、税引前四半期利益は25.9%増の75,389百万円、四半期利益は29.2%増の55,158百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は29.2%増の55,106百万円となりました。

## セグメント別の業績概況

## ① インダストリアルテープ

基盤機能材料は、前第3四半期連結累計期間に対して伸長しました。一般工業および住宅関連部材や金属向けの保護材料などにおいてはCOVID-19の影響により低調でしたが、テレワークの拡大などを背景に、パーソナルコンピュータおよびサーバー向けなどのセラミックコンデンサーや半導体の製造工程で使用される関連部材の需要が拡大しました。また、ハイエンドスマートフォンの生産における組み立て用部材の需要も伸長しました。

トランスポーター事業は、前第3四半期連結累計期間に対して低調に推移しました。自動車生産台数は力強い回復を見せていますが、当第3四半期連結累計期間前半におけるCOVID-19による欧米を中心とした落ち込みを補うまでには至りませんでした。

以上の結果、売上収益は225,141百万円(7.7%減)、営業利益は20,875百万円(6.1%増)となりました。

## ② オプトロニクス

情報機能材料は、前第3四半期連結累計期間に対して伸長しました。テレワークの拡大などを背景にノートパソコン、タブレット端末向け偏光板の需要が拡大しました。一方、スマートフォン向け製品は、OLEDディスプレイ向けの光学フィルムなどは採用が拡大しましたが、全体として需要は減少しました。また、TV向け製品は、従来の計画に沿って減収となりました。TV市場は引き続き好調であるものの、将来を見据えた取組みを継続して進めております。なお、その一環として、協業先との連携を強め、技術供与によるロイヤリティ収益を計上しました。

プリント回路は、前第3四半期連結累計期間に対して伸長しました。COVID-19の影響によりハードディスクドライブ(HDD)の生産が一時的に減少したものの、その後回復が進みました。用途別では、パーソナルコンピュータ用途などは低調に推移しましたが、高容量化が続くデータセンター用途は堅調に推移しました。また、高精度基板を用いた新しい市場への取組みとして、ワイヤレス充電システムにおける補聴器用部材への展開に加え、スマートフォン用部材の業績への寄与が始まりました。

以上の結果、売上収益は323,641百万円(4.5%増)、営業利益は62,633百万円(32.9%増)となりました。

## ③ ライフサイエンス

ライフサイエンスは、前第3四半期連結累計期間に対して伸長しました。核酸医薬の受託製造において、COVID-19の治療薬やワクチンとして核酸医薬品への期待がこれまで以上に高まっており、需要は堅調に推移しました。加えて、核酸医薬合成材料（NittoPhase）の需要も拡大しました。一方、COVID-19による病院への通院者数の減少などにより経皮吸収型テープ製剤や医療用衛生材料の需要が減少しました。需要は回復しつつありますが、前第3四半期連結累計期間の水準には及びませんでした。

核酸医薬の創薬においては、引き続き、肺線維症および難治性のがん治療薬での治験に取り組んでおります。

以上の結果、売上収益は21,389百万円（6.6%増）、営業損失は1,440百万円（前年同四半期は営業損失1,914百万円）となりました。

## ④ その他

メンブレン（高分子分離膜事業）は、COVID-19の影響を大きく受け、前第3四半期連結累計期間に対して低調に推移しました。各種産業用途やエネルギー分野をはじめ需要が停滞しました。なお、当セグメントには未だ十分な売上収益を伴っていない新規事業が含まれております。

以上の結果、売上収益は17,850百万円（10.7%減）、営業損失は4,269百万円（前年同四半期は営業損失1,686百万円）となりました。

(参考) セグメント別の状況 (9ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	基盤機能材料	137,207	139,308	101.5
	トランスポートーション	106,662	85,833	80.5
	計	243,869	225,141	92.3
	営業利益	19,671	20,875	106.1
オプトロニクス	情報機能材料	277,265	283,220	102.1
	プリント回路	32,454	40,420	124.5
	計	309,720	323,641	104.5
	営業利益	47,143	62,633	132.9
ライフサイエンス	売上収益	20,058	21,389	106.6
	営業利益	△1,914	△1,440	—
その他	売上収益	19,986	17,850	89.3
	営業利益	△1,686	△4,269	—
全社・消去	売上収益	△22,898	△21,813	—
	営業利益	△3,017	△1,896	—
合計	売上収益	570,735	566,210	99.2
	営業利益	60,196	75,902	126.1

※ 第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、報告セグメントの分類に一部変更があります。前第3四半期連結累計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

(参考) セグメント別の状況 (3ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	基盤機能材料	46,242	51,942	112.3
	トランスポートーション	34,387	35,218	102.4
	計	80,630	87,160	108.1
	営業利益	6,143	12,404	201.9
オプトロニクス	情報機能材料	94,724	99,437	105.0
	プリント回路	11,825	16,489	139.4
	計	106,550	115,926	108.8
	営業利益	16,182	24,865	153.7
ライフサイエンス	売上収益	7,305	7,590	103.9
	営業利益	56	△124	—
その他	売上収益	5,725	6,050	105.7
	営業利益	△838	△1,905	—
全社・消去	売上収益	△7,762	△8,256	—
	営業利益	△2,449	△1,704	—
合計	売上収益	192,450	208,472	108.3
	営業利益	19,093	33,534	175.6

※ 第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、報告セグメントの分類に一部変更があります。前第3四半期連結会計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

(参考) セグメント別の状況 (年度予想)

(単位: 百万円 比率: %)

		当連結会計年度 (今回予想) (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
		売上収益	前年同期比
インダストリアルテープ	基盤機能材料	183,000	101.0
	トランスポートーション	120,000	87.4
	計	303,000	95.1
	営業利益	20,000	97.4
オプトロニクス	情報機能材料	370,000	104.2
	プリント回路	56,000	129.4
	計	426,000	107.0
	営業利益	78,500	137.0
ライフサイエンス	売上収益	31,000	114.3
	営業利益	500	—
その他	売上収益	23,500	87.2
	営業利益	△5,500	—
全社・消去	売上収益	△28,500	—
	営業利益	△3,500	—
合計	売上収益	755,000	101.9
	営業利益	90,000	129.1

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ資産合計は5,239百万円減少し、916,660百万円となり、負債合計は3,383百万円増加し、235,079百万円となりました。また、資本合計は8,623百万円減少し、681,580百万円となりました。この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の74.8%から74.3%になりました。

主な増減は資産では、現金及び現金同等物が33,295百万円減少、売上債権及びその他の債権が23,091百万円増加、棚卸資産が1,332百万円増加、有形固定資産が1,112百万円増加、使用権資産が1,359百万円減少、無形資産が3,179百万円増加、金融資産が2,233百万円増加しました。負債では、仕入債務及びその他の債務が9,997百万円増加、未払法人所得税等が1,314百万円減少、その他の金融負債（流動）が6,934百万円減少、その他の流動負債が1,253百万円増加、その他の金融負債（非流動）が1,901百万円減少、確定給付負債が2,011百万円増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の主要市場の動向は、テレワークの拡大などを背景とした需要、並びに自動車産業におけるCOVID-19影響からの回復が想定を上回りました。第4四半期連結会計期間においてもこのような状況の継続が見込まれます。

以上の状況などを勘案し、2021年3月期の連結業績予想を見直すことといたしました。なお、第4四半期以降の為替レートについては、1米ドル=103.6円を想定しております。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日から2021年3月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	715,000	75,000	75,000	52,000	52,000	351.43
今回修正予想 (B)	755,000	90,000	90,000	65,000	65,000	439.29
増減額 (B-A)	40,000	15,000	15,000	13,000	13,000	—
増減率 (%)	5.6	20.0	20.0	25.0	25.0	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	741,018	69,733	69,013	47,224	47,156	301.32

上記の業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	304,922	271,627
売上債権及びその他の債権	154,473	177,564
棚卸資産	96,124	97,457
その他の金融資産	2,642	1,942
その他の流動資産	17,893	17,275
流動資産合計	576,056	565,867
非流動資産		
有形固定資産	266,948	268,061
使用権資産	16,266	14,907
のれん	4,852	4,560
無形資産	10,198	13,377
持分法で会計処理されている投資	206	1,067
金融資産	7,242	9,475
繰延税金資産	25,694	25,057
その他の非流動資産	14,434	14,285
非流動資産合計	345,843	350,793
資産合計	921,900	916,660

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	90,811	100,808
社債及び借入金	90	155
未払法人所得税等	10,036	8,722
その他の金融負債	24,050	17,115
その他の流動負債	36,907	38,160
流動負債合計	161,895	164,962
非流動負債		
その他の金融負債	18,976	17,075
確定給付負債	48,272	50,283
繰延税金負債	284	586
その他の非流動負債	2,266	2,172
非流動負債合計	69,800	70,117
負債合計	231,696	235,079
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	26,783	26,783
資本剰余金	50,271	50,094
利益剰余金	643,521	668,471
自己株式	△27,505	△60,435
その他の資本の構成要素	△3,624	△4,121
親会社の所有者に帰属する持分合計	689,446	680,792
非支配持分	757	788
資本合計	690,204	681,580
負債及び資本合計	921,900	916,660

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
 (要約四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	570,735	566,210
売上原価	400,772	385,248
売上総利益	169,963	180,961
販売費及び一般管理費	84,150	79,178
研究開発費	25,097	26,104
その他の収益	3,702	3,652
その他の費用	4,221	3,428
営業利益	60,196	75,902
金融収益	692	449
金融費用	1,039	986
持分法による投資損益 (△は損失)	21	23
税引前四半期利益	59,870	75,389
法人所得税費用	17,165	20,230
四半期利益	42,704	55,158
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	42,657	55,106
非支配持分	47	51
合計	42,704	55,158
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	271.91	370.38
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	271.70	370.12

(要約四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	42,704	55,158
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	170	660
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△7,106	△1,074
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	△0	△0
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△6	△3
その他の包括利益合計	△6,942	△419
四半期包括利益合計	35,762	54,739
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	35,716	54,686
非支配持分	45	53
合計	35,762	54,739

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計		
2019年4月1日残高	26,783	50,319	622,025	△11,081	12,395	700,443	744	701,187
四半期利益	—	—	42,657	—	—	42,657	47	42,704
その他の包括利益	—	—	—	—	△6,941	△6,941	△1	△6,942
四半期包括利益合計	—	—	42,657	—	△6,941	35,716	45	35,762
株式報酬取引	—	△37	—	—	△64	△102	—	△102
配当金	—	—	△29,806	—	—	△29,806	△23	△29,829
自己株式の変動	—	△12	—	275	—	263	—	263
その他の資本の構成 要素から利益剰余金 への振替	—	—	634	—	△634	—	—	—
子会社持分の追加取 得による増減	—	1	—	—	—	1	△32	△30
所有者との取引額等 合計	—	△48	△29,172	275	△698	△29,643	△55	△29,699
2019年12月31日残高	26,783	50,271	635,511	△10,805	4,755	706,516	733	707,250

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計		
2020年4月1日残高	26,783	50,271	643,521	△27,505	△3,624	689,446	757	690,204
四半期利益	—	—	55,106	—	—	55,106	51	55,158
その他の包括利益	—	—	—	—	△420	△420	1	△419
四半期包括利益合計	—	—	55,106	—	△420	54,686	53	54,739
株式報酬取引	—	△200	—	—	△45	△245	—	△245
配当金	—	—	△30,188	—	—	△30,188	△22	△30,211
自己株式の変動	—	24	—	△32,930	—	△32,905	—	△32,905
その他の資本の構成 要素から利益剰余金 への振替	—	—	31	—	△31	—	—	—
所有者との取引額等 合計	—	△176	△30,156	△32,930	△76	△63,340	△22	△63,362
2020年12月31日残高	26,783	50,094	668,471	△60,435	△4,121	680,792	788	681,580

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	59,870	75,389
減価償却費及び償却費	36,993	35,827
減損損失	107	436
確定給付負債の増減額	2,369	1,945
売上債権及びその他の債権の増減額	△8,822	△22,652
棚卸資産の増減額	△1,574	△608
仕入債務及びその他の債務の増減額	△796	10,028
利息及び配当金の受入額	696	502
利息の支払額	△439	△480
法人税等の支払額又は還付額	△11,310	△21,425
その他	△1,118	△416
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,975	78,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△48,245	△44,972
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	256	302
定期預金の増減額	△2,418	839
投資有価証券の取得による支出	△1,236	△334
投資有価証券の売却による収入	1,531	85
関係会社株式の取得による支出	—	△880
その他	△8	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,119	△44,959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△73	64
リース負債の返済による支出	△3,601	△4,061
自己株式の増減額	△0	△33,310
配当金の支払額	△29,820	△30,188
その他	△50	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,546	△67,522
現金及び現金同等物に係る為替換算差額の影響額	△2,349	638
現金及び現金同等物の増減額	△10,040	△33,295
現金及び現金同等物の期首残高	297,682	304,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	287,642	271,627

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	インダストリアルテープ	オプトロニクス	ライフサイエンス	その他	合計	調整額	要約四半期連結損益計算書計上額
外部顧客からの売上収益	232,106	303,631	16,581	17,653	569,973	762	570,735
セグメント間の売上収益	11,762	6,088	3,477	2,332	23,661	△23,661	—
セグメント売上収益合計	243,869	309,720	20,058	19,986	593,634	△22,898	570,735
営業利益(△は損失)	19,671	47,143	△1,914	△1,686	63,213	△3,017	60,196
金融収益							692
金融費用							△1,039
持分法による投資損益(△は損失)							21
税引前四半期利益							59,870

(注) 第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、報告セグメントの分類に一部変更があります。前第3四半期連結累計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

## (各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料、プロセス材料等)、自動車材料
オプトロニクス	情報機能材料、プリント回路
ライフサイエンス	医療関連材料
その他	高分子分離膜、その他製品

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	インダ ストリアル テープ	オプトロ ニクス	ライフサ イエンス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	213,976	317,108	18,364	16,079	565,528	681	566,210
セグメント間の売上収益	11,165	6,532	3,025	1,771	22,495	△22,495	—
セグメント売上収益合計	225,141	323,641	21,389	17,850	588,023	△21,813	566,210
営業利益(△は損失)	20,875	62,633	△1,440	△4,269	77,798	△1,896	75,902
金融収益							449
金融費用							△986
持分法による投資損益 (△は損失)							23
税引前四半期利益							75,389

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料、プロセス材料等)、自動車材料
オプトロニクス	情報機能材料、プリント回路
ライフサイエンス	医療関連材料
その他	高分子分離膜、その他製品

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年1月27日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式33,308百万円を取得いたしました。また、2020年6月19日開催の取締役会決議に基づき、第2四半期連結会計期間において譲渡制限付株式報酬として自己株式189百万円を処分いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己株式数は10,792千株、帳簿価額は60,435百万円となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。